

一般質問発言通告書

発言順位 15 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年11月26日
三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 11番 甲斐 幸博

質問事項1 地域の公共交通を取り巻く現状と課題について

具体的な内容 高齢化が進む中、通院や買物など日常生活における「移動」の問題が深刻化しています。特に、運転免許の自主返納の動きが進展する一方、自主返納後の移動手段に対する不安の声や、自主返納をためらう声もあります。

また、公共交通事業者の現状は、長期的な利用者の減少、コロナの影響による急激な落ち込みもあり、公共交通事業者の経営環境は悪化、コロナ後も利用者数がコロナ以前の水準までには回復していない状況となっています。

人手不足が深刻化、人手不足を要因とする路線バスの休廃止などの動きが拡大しています。

そこで、三島市内の交通空白地域の課題や問題点について伺う。

- 現在三島市内に交通空白地域はあるのか、交通空白地域とはどのような地域なのか。
- 交通空白地域などの課題や問題点の対策をどのように行ってきたのか。
- 交通空白地域などに対し、行政と地域で協力し課題解決のためのシステムづくりができるいか。

質問事項2 高齢者支援について

具体的な内容 高齢化が急速に進んでいます。配偶者と死別したり、子どもと疎遠で別居している方など、1人で暮らしていく不安のある高齢者が増えています。

静岡市が、「エンディングプラン・サポート」事業を11月から始めました。この事業は頼れる親族がない高齢者の終活を市が支援する事業ですが、市の基準を満たす事業者を「終活支援優良業者」として認証し、市が紹介しています。

このような取り組みを三島市でも検討できないか、また、三島市で行っている、70歳以上の市民の外出を支援するため、「高齢者バス等利用券」についての課題・問題点についても伺う。

- 静岡市が取り組んでいる「エンディングプラン・サポート」を本市でも検討できないか。
- 助成券を配布している年代別人数、及び、年代別年間使用状況はどうか。
- 助成券を使用している方々からの改善要望はあるか。要望に対する対策は行っているか。
- 自家用車を使用していない高齢者に、厚い手当ではできないか。
- 障がいの方や、1人では外出できない方に対して厚い手当ではできないか。

質問事項3 小中学生不登校について

具体的な内容 文部科学省は、2024年度の問題行動・不登校調査の結果を発表しました。

国公私立の小中学校で年間30日以上欠席した、不登校の児童生徒は12年連続で増え、全体の3.9%（26人に1人）に当たる、35万3970人と過去最多を更新しました。

静岡県教育委員会は本年度、自己管理や他者との関係を築く力など、社会情動的スキルを伸ばすプログラムを策定する予定で、小中学校での普及に取り組む方針を出しています。

三島市教育委員会としても、不登校に対して全力で対策を行ってきましたが、今回の文部科学省が公表しているように、12年連続で不登校の児童が増加しています。課題・問題点について伺う。

- 三島市の公立小中学校の不登校の状況はどのようにになっているのか。
- 三島市教育委員会が行っている不登校に対する対策はどのように行っているのか。
- 学校外の学びの場を含めた、今後の支援の在り方について市の考えはどうか。